東本願寺ロサンゼルス別院
編集責任者　輪番 伊東憲昭

み　ち

第75巻5号
2023年7月号


# 大いなる変化へ向かって

ロサンゼルス別院開教係
フレドリック・ブレニオン

「それ」との出会いは素晴らしいものです。人生の早い段階で出会う人もいれば、晩年に出会う人もいます。当然のことながら、たとえ遅くとも出会わないよりは良いのです。

「それ」とは何のことでしょう？もちろん、法、真理のことです。特に無常についての法です。ものごとは常に変化し、移り変わっていくのです。

人生の最初の変化を覚えている人は誰もいません。無から有への変化です。それは受胎です。そしてさらに膨大な数の変化が続き、肉体や脳が徐々に形成され、生命体として形を成していきます。精神の方はどうでしょう？この段階である種の認識が出来上がることは分かっています。最初はごく限られた認識ですが、しかし音を感知することは可能なのです。妊娠中の母親の声に胎児が反応することからも分かります。そして、大きな変化がやってきます。誕生です！羊水の中に浮かび、守られるという至福に満ちた状態から、重力が支配し、明るい光に満ち、様々な義務のある世界に放り出されるのです。それまで光の無い世界にあった眼はなかなか焦点が合わず、笑顔を自然淘汰の法則のままに探し求め、やがて食べ物が眼前に届けられます。そして、命の物語が始まるのです。

乳幼児期から幼児期へと移り変わり、言語を習得し、社会性を身につけ、這い這い歩きから歩行を始めるなど、数々の変化が次々と起きてきます。人生は複雑さを増し、思春期が訪れ、反抗期となります。さらに多くの変化と数多くの学びが続きます。そして、人生の方向性を決める変化が訪れます。それは大学進学かもしれません。あるいは職業の選択かもしれません。あるいは大切な人との出会いかもしれません。結婚と親となることは一緒になることが多いかもしれません。人生のそうした変化の数々に準備万端で臨むことができる人などいるのでしょうか。しかし、それでも私達は人生に打ちのめされ、血まみれになり、傷だらけになりつつも、今ここに生きているのです。

私達の中には従事していた職業を完遂する人もいます。私も数年前に定年退職し、その直前に僧侶となったのです！全く予期していなかったことです！人生には全く思いもよらない変化があるものです。

そして今、さらに異なる変化が起きています。両親や兄弟が他界し、大切な友人も一人ひとり世を去っていきます。旧知の友人達と話している時、自分が最後まで残っていたいと冗談を言ったことがあります。そういうこともあるかもしれません。ただ、何を望むのか、気をつけねばなりません。

今、さらに大きな変化が私を訪れています。この先起きうることに対する心構えを整えてくれるような変化です。昨年六月、歩道に上ろうとした時、両足がもつれて前のめりに勢いよく倒れ、路面に顔面を強く打ち付けてしまったのです。幸いなことに、鼻も歯も眼鏡も無事でした。しかし、その時ほど強く顔面を打ったことはありませんでした。私はしばらくの間呆然としているだけでした。それ以来、足元の不安に備え、杖を常に身近に持ち歩くことにしています。歩道も段になっている所は避け、傾斜になっている所を探します。転倒しやすい年齢になったということなのです。転んで怪我をして、人工の股関節や膝関節に変えた人を何人も知っています。翌月、妻が医療機関から連絡を受け、新型コロナウィルス感染症が鎮静化したことを受けて健康診断が再開されると知らされました。そこで妻は私の診断の

## 行事予定

**六月**

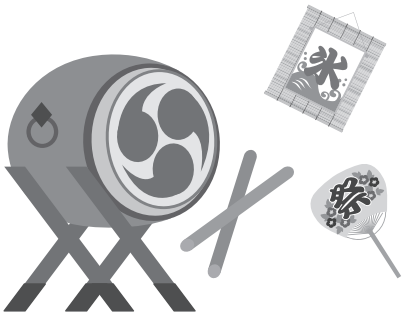
十一日　日曜礼拝・話し合い
十八日　父の日家族礼拝
二十五日　日曜礼拝

**七月**

二日　独立記念日休み
九日　七月祥月法要
十六日　お盆家族礼拝・ペット追悼法要
二十三日　盂蘭盆会（別院）
二十九日　お盆祭り（於村田農場）
三十日　礼拝休み

**八月**

六日　八月祥月法要
十三日　礼拝休み
二十日　礼拝休み
二十七日　礼拝休み



予約を入れました。その診断で判明したことは、私が完全な二型糖尿病を患っているということでした。血糖値が危険な領域にまで達していたのです。そこで糖尿病のことを勉強し、学習会にも参加し、食事や生活習慣について早急に変えなければならない点はすぐに変えました。驚いたことに、そうした処置はどれも難しいことではないということでした。むしろ驚くほど簡単だったのです。高かった血糖値はみるみる下り、今は体調も良くなったのです！糖尿病対策は生活の一部となりました。厳しい現実に直面した時、人は素直に向き合わねばならないのです。そして何よりも、来る八月、私は七十歳となるのです。

私はかつて自分が七十の歳を迎えるなど、考えもしませんでした。若い頃はどのように考えていたか、覚えていません。これほどの短期間にこれほど多くの変化を経験した今、命が限りあるものという意識は、それは子供の頃からあったものとはいえ、いよいよ現実味を増してきました。簡単に申し上げますと、いわゆる「大いなる変化」、つまり死のことですが、それは最早遠く離れたものではなくなってきているのです。まるでダンス会場にいて、新たなダンスパートナーが私の前に現れ、ゆっくりと一緒に踊り始めている気分です。いつか会場の中央に到達するその日まで。美しい描写だと思います。ピーター・ビーグルの小説『死神よ来れ』からの一つのシーンです。ある老齢の伯爵夫人が自ら主催する舞踏会に死神を招待します。死神は美しく若い女性として登場し、招待客達は魅了され、また恐れおののきます。私から見れば、死とはまさしくそのようなものであると思います。人生の終わりとは恐れるべきものではなく、受け入れるべきものです。もちろん、私は早く死にたいなどと思っているわけではありません！しかし、この小説で描かれているように、不可避のものを大切に受け入れるということを学ぶべきなのです。

ほとんどの人にとって、死を考えることは気が滅入ることでしょう。私も本当は死を恐れ、自分に嘘をついているだけなのかもしれません。しかし、この数々の変化の真っ只中にいる今、仏法の教えはいよいよ、ますます真実であり、この私のためにこそある教えであると有り難く思われるのです。人生、そして生きていることに深い喜びが見出され、なおかつ執着するべきものでもないということが分かります。仏法は時に私の知力を超えたものに思えることもありますが、いよいよ真実として、また親しみ深くも感じられるのです。どのような結論に達しようとも、仏法は私のための教えであると言えるのです。私の自覚が幾分深まってきているということなのでしょう。それは良いことです。私の人生の全てがこの自覚への準備であったのだと思います。自分が自分であることに納得するということです。死すべき命を生き、間違いばかりして、愚かである。「凡夫」と言うには余りあるほどです。

もちろん、私の考えも変わり、明日、あるいは来年になれば全く違う考え方をしているかもしれません。もしかすると、私も八十代まで生きるかもしれません。九十代まで生きることができたとすれば、さらに驚くべきことです。

しかし今、阿弥陀仏の大慈悲に摂取されるということをただ有り難くいただいています。これまでも自分が大慈悲の中にあったという自覚もありますが、生きている間だけではなく、死に臨んでも、死して後もまた大慈悲の内にあるのだと思うのです。その意味はよく分かりませんが、自分に

（3ページに続く）

# お盆祭りを村田農場で！

**開催日　二〇二三年七月二十九日（土）**

本年の別院お盆祭りはカマリロ市の村田農場にて開催致します。盆踊りやお食事をご一緒に楽しみましょう。参加方法やお祭りの行事の詳細については三ページをご覧下さい。

（2ページより続き）

とってそれが真実だと感じられるのです。いえ、間違いなく真実です。大いなる変化とは完成なのです。そのことを考えるととても安らかな気持ちになり、また感謝すべきことであると思います。ありのままに受け入れられていることを受け入れ、自分自身を真に受け入れるのです。これが南無阿弥陀仏の不可思議なところなのでしょう。救いを求めるということではなく、我は常に救いの内にあり、ただそのことに気づかなかったということなのです。真宗門徒としての私達の人生は、救いの内にあった者としての人生なのです。救いの中にある者はあらゆる変化を受け入れることができます。大いなる変化さえもです。

ですから、何も心配することはありません。もっとも凡夫なのでこれからも心配はすると思います。今、どのような自分でもそれで良いのだと感じるのです。年寄り？年配？まあ、年長者という言い方が私にはしっくりと来ます。少し偉そうな響きもありますが。奇妙なことに、かつてただ世界の全てに驚嘆していた若い頃のように、自分が自分でいて良いという感覚が今もあるのです。

おそらくは、推測に過ぎませんが、歳を取るということには仏教や浄土真宗をより意義深く、実感をもって感じさせる何かがあるのだと思います。若き皆さんは心して聞いて下さい。あなた方もいつかは私の立場に立つ時が来るかもしれないのです。ロバート・ブラウニングの詩を紹介しますので、味わってお読み下さい。

共に老いてゆこう。
最良の時はこれからだ。
人生の終わり。
そのために始まりが作られたのだ。

## 行事のお知らせ

### お盆祭り於農場

七月二十九日（土）午後十二時三十分から六時三十分まで村田農場（カマリロ市）にてお盆祭りを開催します。前売り券ご購入の方のみ入場頂けます。お寺のメンバーの方には前売り券販売のご案内を致します。前売り期間は七月十四日まで、あるいは売り切れまでとなっております。当日会場では入場券の販売は致しません。

**○大人用チケット（三十ドル）**
・チキン照り焼き弁当
・デザート
・ラッフルチケット

**○子供用チケット（十五ドル）（十歳以下の方）**
・チリライス又はホットドッグ
・かき氷
・三ドル分ゲームチケット

**○全ての入場に含まれるもの**
・農場ツアー（午後一時）
・盆踊り（三時及び五時三十分）
・ハッピーファンスマイル及び別院太鼓グループによる演奏
・ビア、各種飲み物、かき氷、野菜市、花市、クッキーセール、各種ゲーム、東カフェなど

踊を固定した履物や動き易い衣服の着用をお勧めいたします。また、帽子や日焼け止めクリーム、折り畳み椅子もご持参下さい。お盆ティーシャツや法被をお持ちの方は是非ご着用下さい。農場には着替えの場はございませんので、浴衣はお持ちにならないで下さい。

**○各種お盆スポンサー**
・千ドル　ハッピドナー
・五百ドル　タイコドナー
・二百五十ドル　栗饅頭ドナー
・百ドル　かき氷ドナー
・五十ドル　レモネードドナー
・二十五ドル　アボカドドナー

**○盂蘭盆会・初盆法要**
七月二十三日（日）午前十時から別院にて厳修します。対面及びオンライン配信の同時開催にてお勤めします。

**○お盆ティーシャツ**
お盆ティーシャツは事前購入のみの受付となっています。大人用のみ一着二十ドルです。お買い求めのシャツは別院にてお渡し致します。

**○万灯会**
本年は万灯会は開催致しません。農場にて名札のみご記入頂けます。

**○ラッフルチケット**
お盆ラッフルチケットを本年から再開致します。チケットは近日中に皆様に郵送します。また、別院事務所や祭り会場にてもお買い求め頂けます。一枚五ドルです。皆様のご支援、ご協力を賜りますよう、どうぞよろしくお願い申し上げます。

・一等　千ドルキャッシュ
・二等　ユニヴァーサル・スタジオ入場券四枚
・三等　五百ドルキャッシュ
・四等　アップル iPad

お盆祭り於農場についての最新情報はメールにて配信します。配信ご希望の方は info@nhbt-la.org までメールにてご連絡下さい。また、当別院のフェイスブックにても情報を公開しておりますので、ご覧下さい。

## 同朋のお悔み

**長谷川 則人 様**
五月七日 御命終
行年八十二歳

**藤谷 繁子 ジョアン 様**
五月二十七日 御命終
行年七十九歳

**茨木 アリス 康恵 様**
六月二日 御命終
行年九十九歳

謹んで哀悼の意を表します。